

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成22年3月号

編 集 大井 利夫
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

「道」 一卒業を祝して一

松浦 はるみ

公立玉名中央病院 診療情報管理室
診療情報管理士教育委員会分類小委員会 委員
福岡会場専門課程 (分類法) 講師

2月14日、折しもバレンタインデーの日、年1回の診療情報管理士の認定試験が全国で実施された。私も立ち会いで会場に入った。スクーリングやコーディング勉強会で会した人達が、緊張して問題に取り組む姿に、深い感慨を覚え、合格を祈らずにはいられなかった。

今から30数年前になるが、始めて人生の大きな岐路に立った時、私は田舎に帰り、静かに生きて行く方を選んだ。本と音楽だけがそばにあった。東山魁夷の画集に出会ったのは、その頃である。20代はピカソなど鮮やかな色彩や、メリハリのある構図が好きだったが、なぜかその時、魁夷の画集に心惹かれた。魁夷の作品の中で、「残照」、「白夜光」など好きな絵は数々あるが、「道」という一見何の変哲もない絵が、私の心を捉えて離さなかった。「道」はその題のごとく、絵の大半が、でこぼこの白っぽい一本の道であり、ほかには青い草原と空だけが描かれていた。中央に描かれた道は、鑑る者が今にも足を一步踏み出したくなるような佇まいであった。道の両側の草原は青緑の濃淡で丹念に描かれていた。原風景は八戸の種差海岸近くの牧場であると言われているが、私には魁夷が終戦を迎えた熊本の、阿蘇の山並みを思い起こさせた。

道のはるか向こうは、細く、右に曲がって小高い丘に続き、薄もやに包まれた空が一面に広がっていた。山並みと空の間には、朝日の昇る直前を思わせる、白い線が見えた。それはあたかも夜の静寂が終わり、新しい希望に満ちた1日の始まりを予感させた。悩める者も迷う者にも等しく朝は訪れ、やがて朝日が昇ると告げているような、優しさに満ちあふれていた。「道」は、あの時社会と距離をおいた私に、自分を信じて、自分らしく歩いていけば、未来は必ず開かれると訴えかけた。

3月は新たな出発を誓う月である。合格する人、努力が実らなかった人など、どのような境遇であれ、個々の前に道はある。かく言う私も、何度も「道」の前に立ち、歩き出し、今なお道の途中である。卒業生の皆さん、希望を持ち、立ち止まることなく歩いて行ってほしいと心より願う。

いつの日か丘の上に立ち、草原の彼方まで続く、自分の道を見つけるまで。